



# 平成23年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：平成24年2月21日(火)～2月22日(水)

**入場無料**

場 所：京都大学宇治キャンパス（宇治市五ヶ庄）

JR 奈良線黄檗駅から徒歩約5分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約6分

## ○ 平成24年2月21日(火)

所長挨拶	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：30～9：35
特別講演	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：35～12：25
災害調査報告	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	13：30～15：00
一般講演		15：15～18：30
ポスターセッション		9：30～18：30

## ○ 平成24年2月22日(水)

一般講演		9：00～12：00
ポスターセッション・コアタイム		12：00～14：00
一般講演		14：00～17：15
ポスターセッション		9：00～15：00
懇親会（会場：宇治生協会館）		18：00～20：00

### 一般講演会場

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	ハイブリッドスペース （宇治おうばくプラザ）
21日(火) 15:15～18:30	地震・火山 (I)	大気・水 (I)	大気・水 (II)	GCOE(I)	地盤 (I)	ポスター セッション (時間は上記)
22日(水) 9:00～12:00	地震・火山 (II)	大気・水 (III)	大気・水 (IV)	GCOE(II) 総合防災(I)	地盤 (II)	
22日(水) 14:00～17:15	地震・火山 (III)		大気・水 (V)	総合防災(II)		

A会場……きはだホール（宇治おうばくプラザ）

B会場……セミナー室1+2（宇治おうばくプラザ）

C会場……セミナー室4+5（宇治おうばくプラザ）

D会場……大会議室 S-519D（防災研究所本館）

E会場……宇治共通 遠隔会議室 HW401（総合研究実験棟）

※詳しい会場案内図は19ページをご参考ください。

平成 24 年 2 月 21 日 (火)  
〈宇治おうばくプラザ きはだホール〉

昼食

9:30 所長挨拶

所長 中島正愛

災害調査報告 13:30～15:00

特別講演 9:35～12:25

9:35

「火山現象の理解と火山噴火予知」

教授 石原和弘

13:30

「2010 年インドネシア・メラピ火山噴火災害」

教授 藤田正治

10:15

「建築・都市における火災の性状とリスクの  
制御」

教授 田中哮義

14:00

「東日本大震災の津波による建築被害」

准教授 田村修次

11:05

「強風災害と耐風設計」

教授 河井宏允

14:30

「2011 年台風 12 号による深層崩壊」

教授 千木良雅弘

11:45

「災害の総合的なリスクマネジメントへ向けて  
-私の中での過去・現在・未来の研究誌-

教授 岡田憲夫

A 会場 一般講演 地震・火山（I） 平成 24 年 2 月 21 日（火） 15:15 ~ 18:15		休憩	A 会場 21 日 午後
<p>15:15 A01 Test of Hybrid Floor Isolation System Employing Magnetorheological Damper ○ Yundong SHI・Eiji SATO・ Kazuaki HOKI・Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>17:00 A07 損傷低減機能を有する直置き型鋼構 造物のすべり変位抑制方法 ○ 榎田竜太・稲美顕充・池永昌容・ 長江拓也・中島正愛</p>	<p>17:15 A08 超高強度鋼を用いた組立柱部材の曲 げ圧縮実験 ○ Kazuhiro HAYASHI・Xuchuan LIN・ Taichiro OKAZAKI・Ryusuke ENOMOTO・ Masayoshi NAKASHIMA</p>	B 会場
<p>15:30 A02 Analysis on the bolted built-up column using high-strength steel subjected to combined compression and bending ○ Xuchuan LIN・Kazuhiro HAYASHI・ Taichiro OKAZAKI・Ryusuke ENOMOTO・ Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>17:30 A09 桜島における空振ラインアレイ観測 ○ 横尾亮彦・鈴木雄治郎・井口正人</p>	<p>17:45 A10 桜島における火山灰放出量予測に関 する研究 井口正人</p>	C 会場
<p>15:45 A03 Strength Evaluation of SFRCC Slab in Headed Stud-SFRCC Composite Connection ○ Yunbiao LUO・Kazuaki HOKI・ Kazuhiro HAYASHI・Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>18:00 A11 X バンド MP レーダによる浮遊火山灰 計測の試み ○ Nario YASUDA・Yoshio KAJITANI</p>	<p>16:00 A04 被災した鋼骨組の健全性評価を目指 した構造モニタリング技術の開発 ○ 倉田真宏・和 留生・山口真矢子</p>	D 会場
<p>16:15 A05 スリット入り鋼板耐震壁のパネル補剛 設計式の導出 ○ 伊藤麻衣・林 和宏・保木和明・ 谷口雄大・中島正愛</p>	<p>16:30 A06 SFRCC とスタッドを用いた高強度接合 における鋼繊維混入量と繰り返し載荷 の影響 ○ 保木和明・羅 雲標・林 和宏・ 中島正愛</p>	<p>16:15 A05 スリット入り鋼板耐震壁のパネル補剛 設計式の導出 ○ 伊藤麻衣・林 和宏・保木和明・ 谷口雄大・中島正愛</p>	E 会場
<p>16:30 A06 SFRCC とスタッドを用いた高強度接合 における鋼繊維混入量と繰り返し載荷 の影響 ○ 保木和明・羅 雲標・林 和宏・ 中島正愛</p>			ポ ス タ ー

<p>A 会場 22 日 午前</p>	<p style="text-align: center;">A 会場 一般講演 地震・火山（Ⅱ） 平成 24 年 2 月 22 日（水） 9:00 ~ 12:00</p>	<p>10:30 A17 東北地方太平洋沖地震の発生過程 ○飯尾能久・松澤 暢</p>
<p>B 会場</p>	<p>9:00 A12 古地磁気と全岩化学組成から見た 桜島火山南岳南側斜面に分布する 溶岩流の噴出年代 ○味喜大介・宇都浩三・Nguyen HOANG・ 石原和弘</p>	<p>10:45 A18 Tsunami Earthquakes and Their Unusual Source Character ○Dun WANG・James Jiro MORI</p>
<p>C 会場</p>	<p>9:15 A13 桜島火山における水準測量（2011 年 11 月） ○山本圭吾・園田忠臣・高山鐵朗・ 市川信夫・大倉敬宏・横尾亮彦・吉川 慎・ 井上寛之・堀田耕平・松島 健・内田和也・ 中元真美</p>	<p>11:00 A19 東北地方太平洋沖地震の観測記録 に基づく基盤入射波の逆算と強震動 シミュレーション ○長嶋史明・川瀬 博・松島信一</p>
<p>D 会場</p>	<p>9:30 A14 開口割れ目モデルの桜島地盤変動へ の適用 ○堀田耕平・大倉敬宏・井口正人</p>	<p>11:30 A21 東北地方太平洋沖地震による地殻応 力変化と地震応答、活断層への影響 遠田晋次</p>
<p>E 会場</p>	<p>9:45 A15 Evaluation of Sinabung Volcanic Activity Based on Seismicity and Ground Deformation in 2011 ○Ahmad BASUKI・Masato IGUCHI・ Takahiro OHKURA・ Muhammad HENDRASTO・ Hetty TRIASTUTY・Nia HAERANI・ Hendra GUNAWAN・ Novianti INDRIASTUTI・Umar ROSADI</p>	<p>11:45 A22 臨時観測により捉えた東北地方太平 洋沖地震後の焼岳火山周辺の地震 活動 ○大見士朗・和田博夫・濱田勇輝・ 高田陽一郎</p>
<p>ポ ス タ ー</p>	<p>10:00 A16 GPS 連続観測によるインドネシアの火 山の活動評価 ○大倉敬宏・井口正人・ Muhamad HENDRASTO・Umar ROSADI</p> <p style="text-align: center;">休憩</p>	

<p>A 会場 一般講演 地震・火山（Ⅲ） 平成 24 年 2 月 22 日（水） 14：00～17：15</p>	<p>15:15 A28 上町断層帯における重点的な調査観測について(2) 岩田知孝(上町断層帯重点観測研究グループ)</p>	<p>A 会場 22 日 午後</p>
<p>14:00 A23 2011 年東北地方太平洋沖地震によって誘発された火山性地殻変動に関する洞察 ○高田陽一郎・福島 洋</p> <p>14:15 A24 広帯域強震動からみた 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源像 ○浅野公之・岩田知孝</p> <p>14:30 A25 アレー微動及び地震動サイト特性を用いた K-NET 築館の表層地盤構造および非線形特性の推定 ○早川 崇・佐藤智美・大島光貴・川瀬 博・松島信一・長嶋史明・フロレンドマルタン</p> <p>14:45 A26 2011 年長野県北部の地震の震源近傍における高密度の地震動推定と木造建物被害との比較 ○山田真澄・山田雅行・福田由惟・スマイスクリスティン・藤野義範・羽田浩二</p> <p>15:00 A27 拡張型サイト特性置換手法に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震における仙台市緑が丘団地での強震動の評価 ○秦 吉弥・王 功輝・釜井俊孝・野津 厚</p>	<p>休憩</p> <p>15:45 A29 南九州下に沈み込むフィリピン海プレートのイメージング ○澁谷拓郎・寺石真弘・小松信太郎・山崎健一・大倉敬宏・吉川 慎・安部祐希</p> <p>16:00 A30 山崎断層におけるトラフィックノイズを用いた地震波干渉法の適用 宮澤理稔</p> <p>16:15 A31 PALSAR と TerraSAR-X 干渉法により捉えた活断層に沿った地盤沈降 橋本 学</p> <p>16:30 A32 加速度型地震計から得た速度と変位の誤差評価について 徐 培亮</p> <p>16:45 A33 地震発生予測研究のこれから 福島 洋</p> <p>17:00 A34 世紀の難問経度問題とのアナロジーから地震予知の将来について考える 深畑幸俊</p>	<p>B 会場</p> <p>C 会場</p> <p>D 会場</p> <p>E 会場</p> <p>ポスター</p>

A 会場	<p style="text-align: center;"><b>B 会場 一般講演</b> <b>大気・水 (I)</b> 平成 24 年 2 月 21 日 (火) 15:15 ~ 18:15</p>	<p>17:00 B07 我が国における洪水防御システムの変遷と洪水リスクマネジメント ○磯村篤範・堀 智晴・佐藤嘉展・野原大督・道広有理</p>
B 会場 21 日 午後	<p>15:15 B01 京都盆地地下水流動・水質解析に基づく平常時・緊急時の地下水利用が及ぼす影響評価 ○粟津進吾・城戸由能・中北英一</p> <p>15:30 B02 気候変動がもたらす京都盆地水系における地下水環境影響の時空間解析 ○バトルアブドレイム・城戸由能・粟津進吾・中北英一</p>	<p>17:15 B08 土砂量と河床材粒径に着目した生息場評価 ○小林草平・竹門康弘</p> <p>17:30 B09 木津川のダム下流における砂州地形の粒状有機物の捕捉特性に関する研究 ○中井健太郎・竹門康弘・玉 基英・角 哲也</p>
C 会場	<p>15:45 B03 レーダー予測降雨を用いた雨水貯留施設による浸水防止と汚濁負荷削減の実時間制御 ○城戸由能・中村 航・中北英一</p>	<p>17:45 B10 冷水性淡水魚類生態に適した河川水温環境に関する検討 ○内藤淳也・角 哲也・竹門康弘</p>
D 会場	<p>16:00 B04 渇水時貯水池操作における長期確率降水予測情報の利用性分析 ○三木博子・野原大督・堀 智晴</p> <p>16:15 B05 RESERVOIR SEDIMENTATION MANAGEMENT AFTER CHI-CHI EARTHQUAKE IN TAIWAN ○ Fong Zuo LEE・Tetsuya SUMI・Jihn-Sung LAI・Yih-Chi TAN・Chen-Chia HUANG</p>	<p>18:00 B11 天竜川における河床軟度の空間分布に関する研究 ○竹門康弘・村井彰弘・角 哲也</p>
E 会場	<p>16:30 B06 地球規模水・社会動態解析のためのマクロスケール水害被害計量モデルの検討 ○三木康平・堀 智晴・野原大督</p>	
ポ ス タ ー	<p>休憩</p>	

<p>B会場 一般講演 大気・水 (Ⅲ) 平成 24 年 2 月 22 日 (水) 9:00 ~ 12:00</p>		A 会場
<p>9:00 B12 冬季東アジア域の気温変動と関連する大気循環の特徴 ○馬淵未央・向川 均</p>	<p>10:45 B18 Regional Drought Assessment Due to Climate Change Using MRI-AM20km: Standardized Precipitation Index (SPI) ○Kyoungjun KIM・Eiichi NAKAKITA</p>	
<p>9:15 B13 2010 年夏にヨーロッパ・ロシア域で発生した持続的なブロッキングのメカニズムと予測可能性 ○向川 均・藤井 晶・黒田友二</p>	<p>11:00 B19 ナイル川流域における多国間水資源開発コンフリクトに関する研究 ○安部雅宏・田中賢治・小尻利治・浜口俊雄</p>	B 会場
<p>9:30 B14 地形性降雨を考慮したレーダー短時間降雨予測へのエラーアンサンブルの導入 (II) 中北英一・○吉開朋弘・キムスンミン</p>	<p>11:15 B20 中央アジア域の灌漑地拡大の影響を考慮した陸面解析によるアラル海縮小の再現 ○峠 嘉哉・田中賢治・小尻利治・浜口俊雄</p>	22 日 午前
<p>9:45 B15 20kmGCM を用いた様々な空間スケールにおける確率降水量の将来変化の評価 ○木島梨沙子・中北英一</p>	<p>11:30 B21 分布型流出モデルに沿ったマクロスケールでの土砂生産・輸送モデリングの基礎的研究 ○浜口俊雄・田中拓馬</p>	C 会場
<p>10:00 B16 20kmGCM を用いた気候変動が日本の水需給バランスに与える影響推定 ○小槻峻司・田中賢治・小尻利治</p>	<p>11:45 B22 CReSiBUC と HydroBEAM による 2011 年 7 月新潟・福島豪雨災害の再現 ○田中賢治・小槻峻司・相馬一義</p>	D 会場
<p>休憩</p>		E 会場
<p>10:30 B17 ゲリラ豪雨のタマゴの早期探知と危険性予測に関する研究 ○中北英一・西脇隆太・山口弘誠</p>		ポ ス タ ー

A 会場	<p style="text-align: center;"><b>C 会場 一般講演</b> <b>大気・水 (II)</b> 平成 24 年 2 月 21 日 (火) 15:15 ~ 18:15</p>	<p style="text-align: center;">休憩</p>
B 会場	<p>15:15 C01 既存防波堤の安定性を向上させるための新型ブロック工法の提案 ○川田達也・安藤明博・松下紘資・平石哲也</p>	<p>17:00 C07 非構造格子を用いた伊勢湾台風の高潮の再現計算とその計算精度 ○林 祐太・安田誠宏・森 信人・中條壮大・間瀬 肇</p>
C 会場 21日 午後	<p>15:30 C02 管理型廃棄物埋立護岸の潮位変動を考慮した浸透・移流分散解析による遮水性能の評価 ○足立一美・平石哲也・東 良慶</p>	<p>17:15 C08 海洋モデルを用いた瀬戸内海の物理環境再現 森 信人・○田中悠祐・二宮順一・安田誠宏・間瀬 肇</p>
D 会場	<p>15:45 C03 Prediction of Pile Group Scour Hole Properties Due to Waves Using Soft Computing Methods ○ Samaneh Ghazanfari HASHEMI・Tetsuya HIRAISHI</p>	<p>17:30 C09 波浪の物理機構表現の違いが波候長期変化予測に及ぼす影響 ○志村智也・森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p>
E 会場	<p>16:00 C04 海岸河口域における砂浜地形の形成・涵養過程を読み解く試み ○東 良慶・平石哲也・関口秀雄</p>	<p>17:45 C10 クラスター分析を用いた全球確率台風モデルの改良 ○中條壮大・森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p>
ポ ス タ ー	<p>16:15 C05 和歌山県田辺湾堆積物に記録された津波・地震・洪水イベントの地球化学的痕跡 ○山崎秀夫・中川亮太・谷本聡美・東 良慶・平石哲也・高橋智幸・原口 強・関口秀雄</p>	<p>18:00 C11 リアルタイム津波予測手法の 2011 年東北地方太平洋沖地震津波への適用 ○安田誠宏・藤井厚史・森 信人・間瀬 肇</p>
	<p>16:30 C06 大気・海洋・波浪結合モデルを用いた田辺湾における T200918 号の気象場及び波浪の再解析 ○二宮順一・森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p>	

<p style="text-align: center;"><b>C 会場 一般講演</b> <b>大気・水 (IV)</b> 平成 24 年 2 月 22 日 (水) 9 : 00 ~ 12 : 00</p>	<p>10:30 C17 Numerical and Experimental Study on Debris-Flow Breaker ○ Yeonjoong KIM · Hajime NAKAGAWA · Kenji KAWAIKE · Hao ZHANG</p>	<p style="text-align: center;">A 会場</p>
<p>9:00 C12 東北太平洋沖地震による斜面崩壊発生に対する土壌水分状態の影響 ○堤 大三・藤田正治・宮田秀介・里深好文・堀田紀文</p> <p>9:15 C13 網状流路に形成される止水域の特性について ○上戸亮典・竹林洋史・藤田正治</p> <p>9:30 C14 固定床上に設置された水制周辺の流砂特性 ○久加朋子・竹林洋史・藤田正治</p> <p>9:45 C15 Characteristics of Suspended Sediment Deposition/Erosion Process around Bandal-like Structures in Alluvial Rivers ○ Hiroshi TERAGUCHI · Hajime NAKAGAWA · Kenji KAWAIKE · Hao ZHANG</p> <p>10:00 C16 Study of the Characteristics of the Flow Around a Sequence of Non-Typical Shape of Spur-dykes Installed in Fluvial Channel ○ Amir-Reza MANSOORI · Hajime NAKAGAWA · Kenji KAWAIKE · Hao ZHANG</p>	<p>10:45 C18 山地域におけるフラッシュフラッドの発生機構に関する研究 ○小林弘尚・宮田秀介・竹林洋史・藤田正治</p> <p>11:00 C19 Experimental Study on Validation of Combined Model for Urban Inundation Analysis ○ Seungsoo LEE · Hajime NAKAGAWA · Kenji KAWAIKE · Hao ZHANG</p>	
<p style="text-align: center;">休憩</p>	<p>11:15 C20 異なる土砂特性を有する河川の合流点における河床変動 -カンボジア国・チャトムック地区を対象として- ○竹林洋史・Nguyen Manh Minh TOAN · 藤田正治</p> <p>11:30 C21 木津川におけるハイドロフォンによる土砂移動量推定の試み ○山崎友也・富阪和秀・米田 格・多田光宏・角 哲也・竹門康弘</p> <p>11:45 C22 美和ダム排砂バイパスシステム運用高度化に向けた流砂モニタリング手法の開発 ○角 哲也・野原大督・橋本和樹</p>	<p style="text-align: center;">C 会場 22 日 午前</p>
		<p style="text-align: center;">D 会場</p>
		<p style="text-align: center;">E 会場</p> <p style="text-align: center;">ポ ス タ ー</p>

A 会場	<p style="text-align: center;"><b>C 会場 一般講演</b> <b>大気・水 (V)</b> 平成 24 年 2 月 22 日 (水) 14:00 ~ 17:15</p>	<p>15:45 C29 木曾川水系統合流出解析モデルの高度化 ○佐藤嘉展・道広有理・鈴木 靖</p>
B 会場	<p>14:00 C23 2011年東北地方太平洋沖地震津波の再現計算 ○森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p> <p>14:15 C24 自己相似分布形解析に基づいた津波の陸上遡上過程の基本特性について 白井秀和・○細田 尚・Puay How TION</p>	<p>16:00 C30 GCM データによる日本における降水特性の再現性と将来変化について ○道広有理・佐藤嘉展・鈴木 靖</p> <p>16:15 C31 アンサンブル再解析データを用いた放射性物質の大気輸送誤差の研究 ○井口敬雄・向川 均・榎本 剛</p>
C 会場 22日 午後	<p>14:30 C25 巨大津波発生時における湾口防波堤の有効性に関する数値解析的検討 ○米山 望・三輪真揮・森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p> <p>14:45 C26 Biwa-3D による琵琶湖北湖の溶存酸素濃度の高解像度解析 ○山敷庸亮・加藤雅人・寶 馨・中北英一</p>	<p>16:30 C32 中立に近い大気境界層における組織的乱流構造の出現状況の変化 ○堀口光章・林 泰一・足立アホロ・小野木茂</p> <p>16:45 C33 瓦による合わせガラスの耐衝撃破壊特性 ○ Takashi MARUYAMA ・ Hiromasa KAWAI ・ Masato KAMO ・ Hiroaki NISHIMURA</p>
D 会場	<p>15:00 C27 複数の再解析データによる気候値の空間分布再現性と WCRP-CMIP3 マルチ気候モデルにみる気候変動予測の不確実性 ○辰己賢一・山敷庸亮・寶 馨</p>	<p>17:00 C34 球面上のトレーサ移流 榎本 剛</p>
E 会場	<p>15:15 C28 流域圏統合モデルによる伊勢湾への河川水の影響評価 ○鈴木 靖・佐藤嘉展・道広有理</p>	
ポ ス タ ー	<p>休憩</p>	

D 会場 一般講演 GCOE (I) 平成 24 年 2 月 21 日 (火) 15:15 ~ 18:30		休憩	A 会場
<p>15:15 D01 Evaluation of Seismic Coefficient Value for Bridge Design in Malaysia ○ Sherliza ZAINI SOORIA · Yoshikazu TAKAHASHI · Sumio SAWADA</p> <p>15:30 D02 Numerical Assessment of the Permeability for the Pleistocene Sand Gravel Deposits Considering the Subsurface Stratigraphy of KIX ○ Byunggon JEON · Mamoru MIMURA · Youhei SAITSU</p> <p>15:45 D03 Approach to Creating a Field for Disaster Reduction at the Community Level ○ Junho CHOI · Hirokazu TATANO</p> <p>16:00 D04 Role of Social Networks in Community's Flood Risk Perception and Mitigation Behavior: A case study from Mumbai, India ○ Subhajyoti SAMADDAR · Hirokazu TATANO</p> <p>16:15 D05 Spatial Risk Assessment for Flood Caused by Two Rivers ○ Xinyu JIANG · Hirokazu TATANO</p> <p>16:30 D06 Integrating Models in the Lower Part of Chao-Phraya River Basin for an Early Flood Warning System ○ Supatchaya CHUANPONGPANICH · Kenji TANAKA · Toshiharu KOJIRI</p>	<p>17:00 D07 Experimental Study of Debris Particle Routing near Upstream Area for 25° Case ○ Mohd Remy Rozainy M.A.Z · Yosuke YAMASHIKI · Taku MATSUMOTO · Tamotsu TAKAHASHI · Kaoru TAKARA</p> <p>17:15 D08 Impact of ENSO Modoki on the Streamflow of the Paranaiba River, Brazil ○ Netrananda SAHU · Yosuke YAMASHIKI · Kaoru TAKARA</p> <p>17:30 D09 Use of the Observation and MRI-GCM Data for Future Prediction of the Water Temperature in the Imja Glacier Lake, Nepal ○ Tsutao OIZUMI · Yosuke YAMASHIKI · Kenichi TATSUMI · Kaoru TAKARA</p> <p>17:45 D10 Portable Ring Shear Apparatus and its Application on Croatian Landslides ○ Maja OSTRIC · Kyoji SASSA · Bin HE · Kaoru TAKARA · Yosuke YAMASHIKI</p> <p>18:00 D11 Reconstruction of the Paleo-hydrology under the paleo-land-use and paleo-climate conditions ○ Pingping LUO · Hans Renssen · Bin HE · Kaoru TAKARA · APIP · Daniel Nover · Kenichiro KOBAYASHI · Yosuke YAMASHIKI</p> <p>18:15 D12 砂質堤防越水時の浸透とすべり破壊を考慮した越流破壊解析法の検討 ○水谷英朗 · 中川 一 · 奥田敏昭 · 川池健司 · 張 浩</p>	<p style="text-align: center;">B 会場</p> <p style="text-align: center;">C 会場</p> <p style="text-align: center;">D 会場</p> <p style="text-align: center;">21 日 午後</p> <p style="text-align: center;">E 会場</p> <p style="text-align: center;">ポ ス タ ー</p>	

A 会場	<p style="text-align: center;">D 会場 一般講演 GCOE (II) 総合防災 (I) 平成 24 年 2 月 22 日 (水) 9:00 ~ 12:00</p>		<p>10:30 D19 東日本大震災の津波来襲時における「社会的なリアリティ」の構築過程に関する考察 ○近藤誠司・矢守克也</p>
B 会場	<p>9:00 D13 最悪台風による淀川流域洪水被害の推定 ○小林健一郎・石川裕彦・竇 馨</p>	<p>10:45 D20 Micromedia Service による防災情報提供システムの開発 ○周 瑜・林 春男</p>	
C 会場	<p>9:15 D14 An EcoHealth Approach to link Ecological Risks to Human Health in a Changing Environment Bam H.N. RAZAFINDRABE・○Bin HE・Kiyoyuki YAOTA・Satoshi SAITO・Ryohei KADA・Kaoru TAKARA</p>	<p>11:00 D21 Experimenting a Communicative Approach to Enhance Awareness and Collaboration for Citizen Involved Disaster Risk Reduction by Combining Yonmenkaigi System and DIT Method ○Judith CUADRA・Norio OKADA</p>	
D 会場 22日 午前	<p>9:30 D15 アフリカサブサヘル半乾燥地域の気象 石川裕彦</p>	<p>11:15 D22 東海・東南海・南海地震を想定した浄水施設の事業継続戦略構築 ○小松瑠実・木村玲欧・鈴木進吾・林 春男</p>	
E 会場	<p>9:45 D16 2011 年東北地方太平洋沖地震で観測された強震動とその構造物破壊能 ○宝 音図・川瀬 博・松島信一</p>	<p>11:30 D23 被災地の復興における地域色の維持と人口流出の問題に関する一考察 ○小谷仁務・横松宗太・岡田憲夫</p>	
ポ ス タ ー	<p>10:00 D17 Prediction of Refugee Population and Relief Supply at School Districts in an Earthquake ○邵 俊豪・田中哮義</p>	<p>11:45 D24 How to evaluate disaster education based on LPP? ○孫 英英・矢守克也</p>	
	<p>10:15 D18 Vitae System Based Agent Modeling and Simulation of Self-Evacuation and Rescuing Process under Survivability-Critical States in Underground Flooding ○肥後英志郎・岡田憲夫</p>		

D 会場 一般講演 総合防災 (Ⅱ) 平成 24 年 2 月 22 日 (水) 14:00 ~ 17:15		
<p>14:00 D25 東日本大震災による経済影響評価の 試み ○多々納裕一・梶谷義雄</p> <p>14:15 D26 東日本大震災後の電力供給不足に対 する産業部門の対応とレジリエンス ○梶谷義雄・横松宗太・多々納裕一・ 安田成夫</p> <p>14:30 D27 地震動に適した震源過程モデルに関 する提案 ○後藤浩之・奥村与志弘</p> <p>14:45 D28 福島県成人住民の放射性セシウムへ の経口・吸入曝露の予備的評価 小泉昭夫・原田浩二・○新添多聞・ 足立 歩・藤井由希子・人見敏明・ 小林 果・和田安彦・渡辺孝男・ 石川裕彦</p> <p>15:00 D29 被災地における災害復旧業務ワンス トップサービス支援システムの開発 畑山満則</p> <p>15:15 D30 「基礎生活圏」に基づく災害対応、 復旧対策の基礎的検討 - 東海・東南 海・南海連動性地震による紀伊半島 を事例として - ○陳 海立・牧 紀男・林 春男</p>	<p>15:45 D31 巨大災害リスクと国土構造のリダ ンダンシー ○大西正光・横松宗太・小林潔司</p> <p>16:00 D32 津波に適した震源過程モデルに関す る提案 ○奥村与志弘・後藤浩之</p> <p>16:15 D33 西日本大震災発生時の津波襲来地 域で想定される課題 - ある太平洋沿 岸自治体を 対象とした津波避難モ デルによる検討 ○樋本圭佑・鈴木進吾・安田成夫・寶 馨・ 田中哮義</p> <p>16:30 D34 岩手県の漁業者の暮らしに対する東 日本大震災の影響 ○池田菜穂・南 正昭・多々納裕一</p> <p>16:45 D35 東日本大震災の長期的な経済的影響 のモデル分析 ○横松宗太・西岡紗耶加・梶谷義雄・ 多々納裕一</p> <p>17:00 D36 津波に強いまちづくりに向けた東日本 大震災被災地域の避難行動調査 ○鈴木進吾・樋本圭佑・安田成夫</p>	<p>A 会場</p> <p>B 会場</p> <p>C 会場</p> <p>D 会場 22 午後</p> <p>E 会場</p> <p>ポ ス タ ー</p>
休憩		

A 会場	<p style="text-align: center;">E 会場 一般講演 地盤 (I) 平成 24 年 2 月 21 日 (火) 15:15~18:00</p>	<p style="text-align: center;">休憩</p>
B 会場	<p>15:15 E01 大規模海底地すべりとすべり面液状化～珪砂-ドライアイス混合試料のせん断挙動 ○津久井敦也・福岡 浩</p>	<p>17:00 E07 2011 年台風 12 号による深層崩壊の発生場および発生時刻と降雨履歴との関係 ○松四雄騎・千木良雅弘・山田真澄・平石成美・松澤 真</p>
C 会場	<p>15:30 E02 Failure mechanism of the typical landslides in Jurassic red beds in the Three Gorges Reservoir, China ○ Haibo MIAO・Kunlong YIN・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI</p>	<p>17:15 E08 2011 年台風 12 号による深層崩壊の発生前の地形的特徴と地質構造 ○千木良雅弘・松四雄騎・平石成美・松澤 真</p>
D 会場	<p>15:45 E03 Landscape Evolution at Shihmen Reservoir Watershed, Northern Taiwan ○ Ching-Ying TSOU・Masahiro CHIGIRA・Yuki MATSUSHI</p>	<p>17:30 E09 2011 年東北地方太平洋沖地震によって発生した造成地盤地すべりの変動観測 釜井俊孝</p>
E 会場 21 日 午後	<p>16:00 E04 Formulation of large displacement beam element, implementation in FLIP and comparative numerical analysis of general usability and buckling behavior Frederico Furst BITTENCOURT</p>	<p>17:45 E10 東日本大震災時に発生した葉ノ木平地すべりの発生・運動機構に対するダイナミック検証 ○王 功輝・末峯 章・秦 吉弥・釜井俊孝</p>
ポ ス タ ー	<p>16:15 E05 津波来襲時のケーソン式防波堤の破壊メカニズムに関する遠心模型実験と解析 ○矢追祐士・井合 進・飛田哲男</p> <p>16:30 E06 2011 年台風 12 号による崩壊発生の初期過程の検討 - 紀伊半島奈良県 - 齊藤隆志</p>	

E 会場 一般講演 地盤 (II) 平成 24 年 2 月 22 日 (火) 9:00~12:00		
<p>9:00 E11 地震降雨時の四国山地における鉾津ダムの決壊危険度調査例 ○末峯 章・日浦啓全・王 功輝・ 笹原克也</p> <p>9:15 E12 災害廃棄物・津波堆積物の物性評価と復興資材への活用可能性について ○勝見 武・乾 徹・高井敦史・ 森田康平・片山真理子</p> <p>9:30 E13 廃棄物処分場における廃棄物層の強度・変形特性の経時変化 Nguyen Chau LAN・○乾 徹・池田和樹・ 勝見 武・高井敦史</p> <p>9:45 E14 盛土による古墳墳丘の復元における地盤工学的課題と対策 ○三村 衛・福本惣太・吉村 貢・ 渡邊隆行</p> <p>10:00 E15 地盤事故災害における法地盤工学の貢献 ○岩崎好則・三村 衛</p>	<p>10:45 E17 ひずみ空間多重せん断モデルによる粘土地盤の圧密解析 井合 進</p> <p>11:00 E18 新遠心力载荷装置の振動特性に関する詳細調査 ○富阪和秀・井合 進・飛田哲男</p> <p>11:15 E19 乾燥砂地盤における沈下挙動に対する拡張型相似則の適用性 ○飛田哲男・Sandra ESCOFFIER・ Jean-Louis CHAZELAS・井合 進</p> <p>11:30 E20 基礎部の根入れ効果を考慮した応答変位法による杭応力評価 田村修次</p> <p>11:45 E21 液状化地盤における鋼管杭の動座屈崩壊挙動 ○木村祥裕・田村修次・小野原公一・ 栗木 周</p>	<p>A 会場</p> <p>B 会場</p> <p>C 会場</p> <p>D 会場</p> <p>E 会場</p>
休憩		22日 午前
<p>10:30 E16 融雪特性による地震動が地すべりの発生に及ぼす影響の間接的評価 ○松浦純生・萩村俊司・宮平永一郎・ 寺嶋智巳・岡本 隆</p>		ポ ス タ ー

A 会場	<p><b>ポスターセッション</b></p> <p>平成 24 年 2 月 21 日 (火) 9:30~18:30 平成 24 年 2 月 22 日 (水) 9:00~15:00</p> <p><b>ポスターセッション・コアタイム</b></p> <p>平成 24 年 2 月 22 日 (水) 12:00~14:00</p>	<p><b>P07</b> Spatially Distributed Snowmelt Modeling of the Ane River Dam Catchment ○ Pedro Luiz Borges CHAFFE · Yosuke YAMASHIKI · Kaoru TAKARA</p>
B 会場	<p><b>P01</b> 稠密地震観測による近畿地方北部におけるメカニズム解と応力場 ○青木裕晃・片尾 浩・飯尾能久・三浦 勉・中尾愛子・米田 格・澤田麻沙代・中尾節郎</p>	<p><b>P08</b> 地質を考慮した凍結融解土砂生産の推定法 ○泉山寛明・堤 大三・藤田正治</p>
C 会場	<p><b>P02</b> 東北地方太平洋沖地震による逆断層への応力降下と地震活動の低下 ○廣瀬志保・遠田晋次</p>	<p><b>P09</b> 気候変動による斜面崩壊危険度の変化 ○一貫田悟司・藤田正治・堤 大三</p>
D 会場	<p><b>P03</b> Network-MT 法による九州の 3D 比抵抗構造：沈み込み帯でのスラブ流体と火山 ○畑 真紀・大志万直人・吉村令慧・田中良和・上嶋 誠・九州地域 Network-MT 研究グループ</p>	<p><b>P10</b> 流水型ダムにおける潜り跳水式減勢工の水理特性 ○ Mohammad MESHKATI SHAHMIRZADI · Tetsuya SUMI · Sameh A. KANTOUSH</p>
E 会場	<p><b>P04</b> 地形曲率に基づく土層厚の空間分布の経験的推定とそれを用いた斜面安定性の評価 ○外山 真・松四雄騎・千木良雅弘</p>	<p><b>P11</b> Simulating Potential Impacts of Climate Change on Sediment Production in Western Japan ○ APIP · Kaoru TAKARA · Kenichiro KOBAYASHI · Eiichi NAKAKITA · Yosuke YAMASHIKI</p>
ポ ス タ ー	<p><b>P05</b> すべり面せん断に及ぼす浸透流の役割と表層崩壊の発生 ○宮平永一郎・寺嶋智巳・落合博貴・服部克巳</p>	<p><b>P12</b> セサヤップ川における河岸浸食対策の数値解析による検討 ○ Puji HARSANTO · 竹林洋史 · 藤田正治</p>
	<p><b>P06</b> バッドランドでの岩石物性変化の観測 -台湾南西部鮮新-更新統泥岩分布地域において- ○樋口衡平・千木良雅弘</p>	<p><b>P13</b> 統一水質指標 (WQI) と土地利用の関連性に関する研究 ○寺本智子・山敷庸亮・寶 馨</p>
		<p><b>P14</b> 高耐波安定性ブロックの開発および性能照査に関する実験的研究 安田誠宏・間瀬 肇・○松下紘資・徳永誠之</p>

- P15**  
 接地境界層内における乱流構造の安定度依存性について  
 ○阿波崎たかね・林 泰一・石川裕彦
- P16**  
 危機か転機? : 台湾における「明星災区」の意義と課題  
 ○李フシン・近藤誠司・矢守克也
- P17**  
 2011年霧島新燃岳噴火に関連した伊佐(吉松)観測室における歪変化  
 ○寺石眞弘・石原和弘・小松信太郎・山崎健一
- P18**  
 神岡ボアホールひずみ計で観測された東北地方太平洋沖地震のひずみ地震動  
 ○加納靖之・伊藤久男
- P19**  
 豊後水道スロースリップ震源域近傍で得られた横坑内伸縮計記録の再検討  
 ○山崎健一・寺石眞弘・小松信太郎
- P20**  
 巨大地震に際して歪地震計で記録された各種の信号  
 ○森井 互・加納靖之・寺石眞弘・竹内文朗・細 善信・藤田安良・尾上謙介
- P21**  
 2011年4月11日福島県浜通りの地震に伴う地震断層のマッピングとトレンチ調査  
 ○堤 浩之・遠田晋次
- P22**  
 北陸域の震源データ 1976-2011  
 ○竹内文朗・澁谷拓郎・西上欽也・平野憲雄・松村一男・大谷文夫・岡本拓夫
- P23**  
 琵琶湖西岸断層南部の地震による地殻変動と琵琶湖疏水  
 ○川崎一朗・岡田篤正・遠田晋次

- P24**  
 箱根地震活動域周辺での AMT 観測-序報-  
 ○吉村令慧・小川康雄・行竹洋平・山崎友也・加茂正人・神田 径・小森省吾・後藤忠徳・本多 亮・原田昌武・安田陽二郎・谷 昌憲・大志万直人
- P25**  
 荒砥沢巨大地すべり地及びその周辺地域における強震動観測  
 ○松波孝治・森井 互・齊藤隆志・福岡 浩・山崎友也・多田光宏・岡本 茂・井川 猛
- P26**  
 宮城県古川地区における超高密強震観測  
 ○澤田純男・後藤浩之・盛川 仁・稲谷昌之・小倉祐美子・徳江 聡・ZHANG Xin-ruい・岩崎政浩・荒木正之
- P27**  
 想定房総沖地震の地震動予測  
 ○関口春子・吉見雅行・堀川晴央
- P28**  
 蔵王火山、五色岳火砕岩中の火山弾の古地磁気情報  
 ○石川尚人・伴 雅雄・菊地仁美・陣 出真・森永速男
- P29**  
 融雪が火山泥流の堆積域に及ぼす影響の基礎的検討  
 ○宮田秀介・村重慧輝・堤 大三・宮本邦明・藤田正治
- P30**  
 Upstream Channel Responses due to Partial Removal of a Weir  
 ○ Hao ZHANG・Yasunori MUTO・Hajime NAKAGAWA・Shiro NAKANISHI
- P31**  
 東北地方太平洋沖地震による河川堤防の被害について  
 ○中川 一・川池健司・張 浩・馬場康之

A  
会場

B  
会場

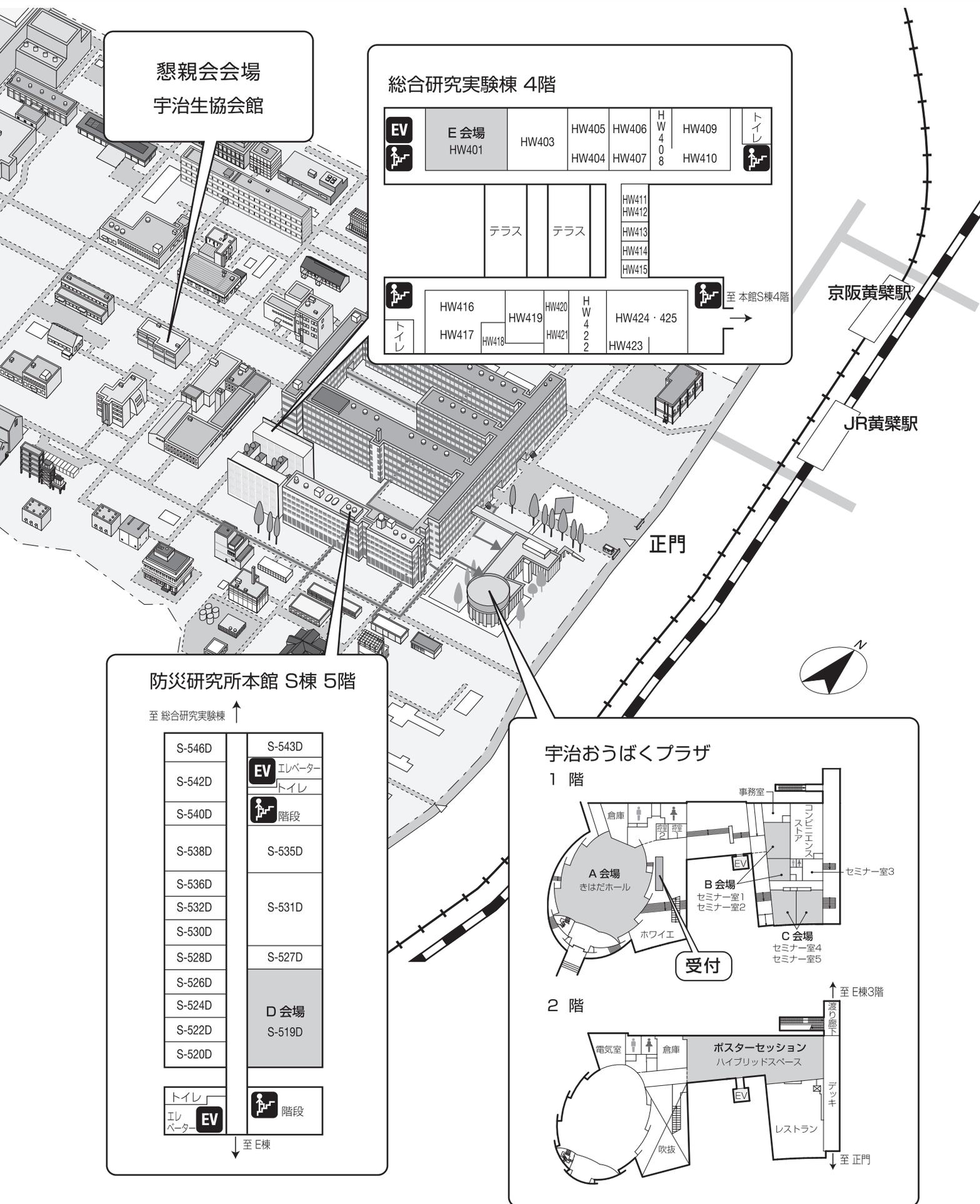
C  
会場

D  
会場

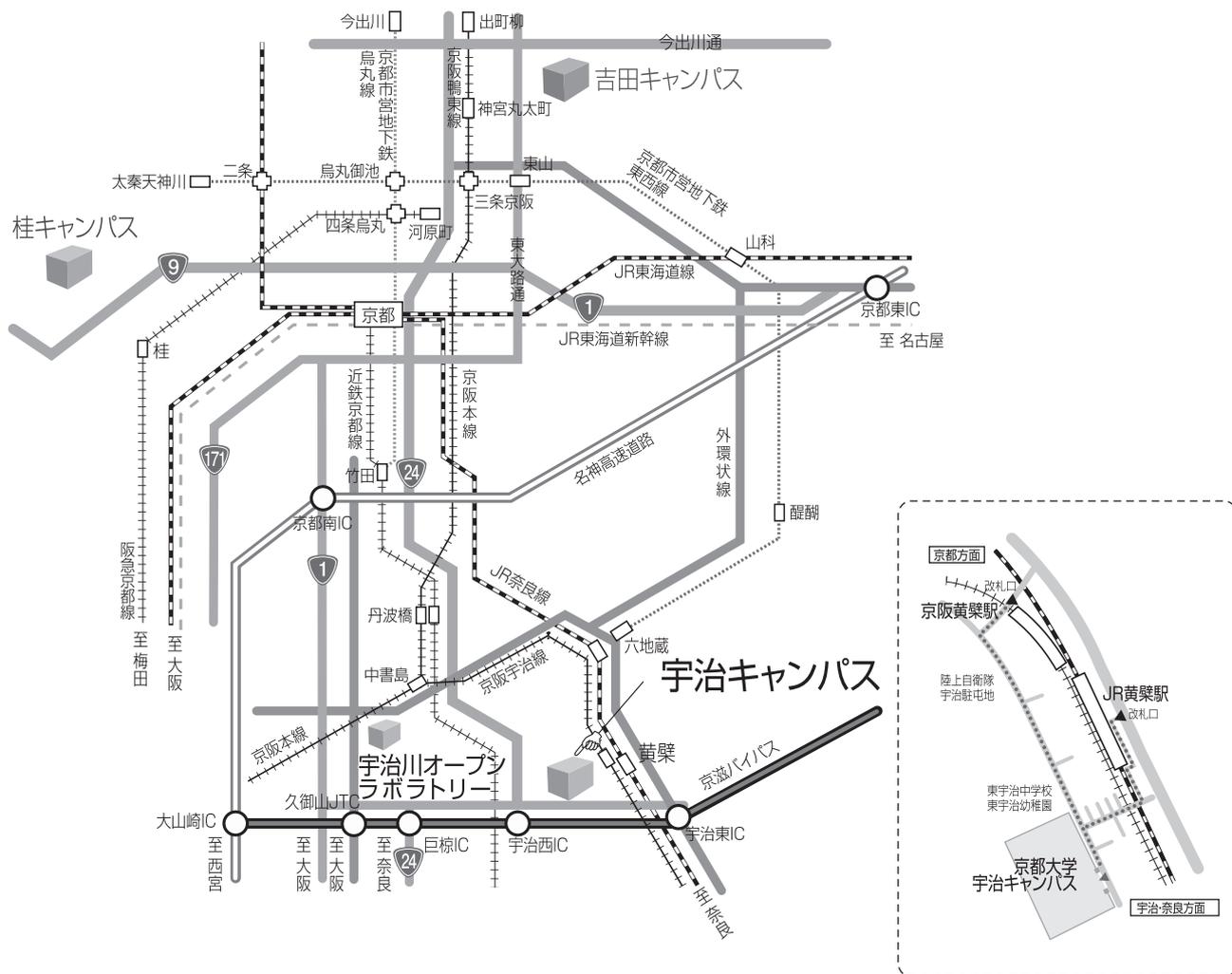
E  
会場

ポ  
ス  
タ  
ー

A 会場	<p><b>P32</b> 2011 年台風 12 号による和歌山県での河道災害 ○武藤裕則・馬場康之・久保輝弘・村田明広・中野 晋・西山賢一・宇野宏司・宇民 正・中川 一</p>	<p><b>P40</b> 大きい滑りと断層摩擦：2011 年東北地震の断層掘削に関する提案 James Jiro MORI</p>
B 会場	<p><b>P33</b> 氾濫時の車の漂流に関する模型実験 ○戸田圭一・石垣泰輔・尾崎 平・高垣裕彦・西田知洋</p> <p><b>P34</b> 地盤高データの違いが内水氾濫解析に与える影響 ○尾崎 平・石垣泰輔・戸田圭一・浅野統弘</p>	
C 会場	<p><b>P35</b> 複数孤立砂堆の配置の違いによる流れへの影響に関する基礎実験 ○遠藤徳孝・村上貴志・谷口圭輔・東 良慶</p>	
D 会場	<p><b>P36</b> 大潟海岸・上下浜の海浜地形と海浜底質の粒度組成 -主にビーチカスプにおいて- 内山 清</p> <p><b>P37</b> 田辺中島高潮観測塔における 2011 年夏季台風接近時の現地観測結果 ○馬場康之・久保輝弘・森 信人・木原直人</p>	
E 会場	<p><b>P38</b> 国土交通省 X バンド MP レーダ情報をデータ同化した降水予測 ○山口弘誠・中北英一</p>	
ポ ス タ ー	<p><b>P39</b> 高分解能気象モデルによる 2011 年 3 月福島県東部の局所的な気流の解析 竹見哲也</p>	



## 会場へのアクセス



## ～ 懇親会のご案内 ～

日時：平成24年2月22日（水）18：00～20：00

場所：宇治生協会館（19ページの地図をご参考ください）

[教職員・学生の皆さまへ]

懇親会は完全チケット制で事前申し込みが必要です

## [連絡先]

京都大学防災研究所広報出版企画室

0774 (38) 4640

e-mail：dpri-ksk@dpri.kyoto-u.ac.jp

http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp